

新型コロナウイルス感染防止に向けて

様々な場面で皆様のご協力をいただくことが感染拡大の防止に繋がります。

1. 心がけること

- ・ こまめに石けんなどで手を洗う。
- ・ 咳エチケットを守る。
- ・ 基礎疾患等がある方、ご高齢の方は、できるだけ人混みの多い場所を避ける。

[発熱等の風邪症状が見られるとき]

- ・ 大学を休み、外出を控える。
- ・ 毎日、体温を測定して記録しておく。
- * 症状があるのに出勤や学校へ来ることは、重症化する恐れのある人も含めて、他の人に感染させるリスクがあるので、控えてください。

2. 帰国者・接触者相談センターに相談する目安

次の症状がある方は、「帰国者・接触者相談センター」に相談する。

- ① 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く
(解熱剤を飲み続けなければならないときを含む)
- ② 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方

【注意】

- 1) 以下のような方は重症化しやすいため、①の症状が2日程度続く場合および、②の症状が出た場合は直ちに帰国者・接触者相談センターに相談する。
 - ・ 高齢者
 - ・ 糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)の基礎疾患がある方や透析を受けている方
 - ・ 免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
- 2) 妊婦については、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めに帰国者・接触者相談センターに相談する。

3. その他

- ・ 現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医等に相談する。
- ・ 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット(咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる)を徹底する。